

昭島市 市民意識調査

概要版

市民意識調査概要版は、平成25年10月に実施した「昭島市 市民意識調査」報告書を要約したものです。

< 調査の概要 >

- (1) 調査地域……昭島市全域
- (2) 調査対象……昭島市在住の満16歳以上の個人
- (3) 標本数……2,000人(男女各1,000人)
- (4) 抽出方法……昭島市住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法……郵送配布、郵送回収
- (6) 調査期間……平成25年10月15日(火)～平成25年11月5日(火)
- (7) 有効回収率……59.4%

< 調査項目 >

- | | |
|---------------|-------------|
| (1) 定住意向 | (7) 昭島市の水道水 |
| (2) 暮らしの満足度 | (8) 都市景観 |
| (3) 災害対策 | (9) 少子高齢化 |
| (4) 日常生活 | (10) 広報 |
| (5) 地域活動・生涯学習 | (11) 情報化 |
| (6) 環境 | (12) 男女共同参画 |
| | (13) 市政・市役所 |

本概要版を見る際の注意事項

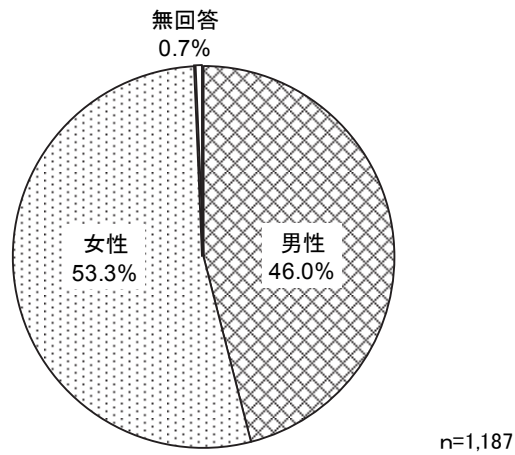
- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、数値の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数nとして算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- (4) n (Number of Cases の略) は比率算出の基数であり、100%が何人の回答者数に相当するかを示す。

平成26年2月

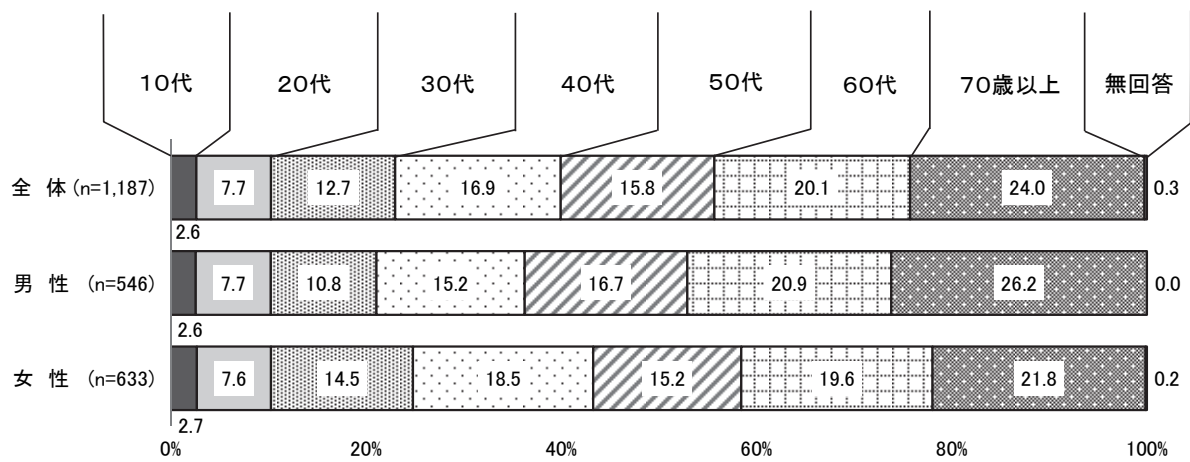
昭島市

< 回答者の属性 >

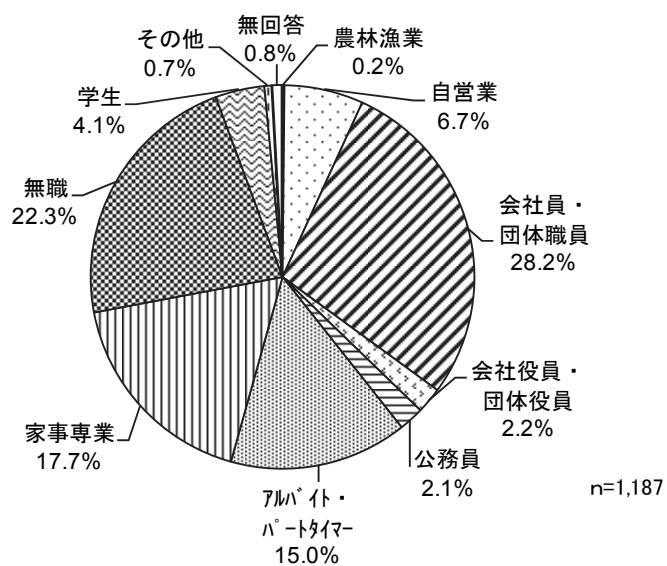
◆性別



◆性・年代

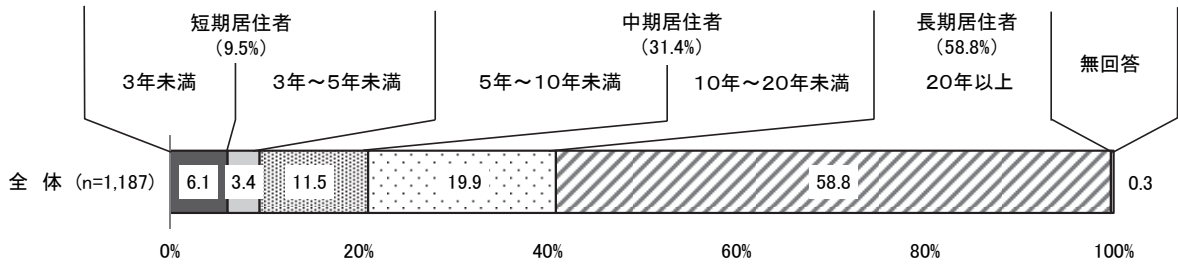


◆職業



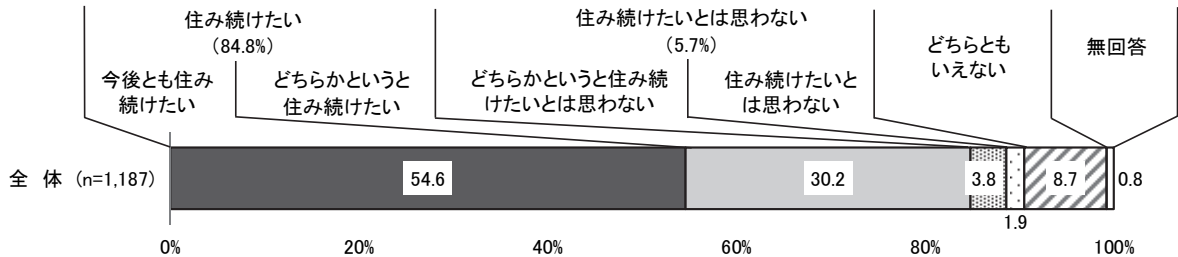
1. 定住意向

(1) 居住年数



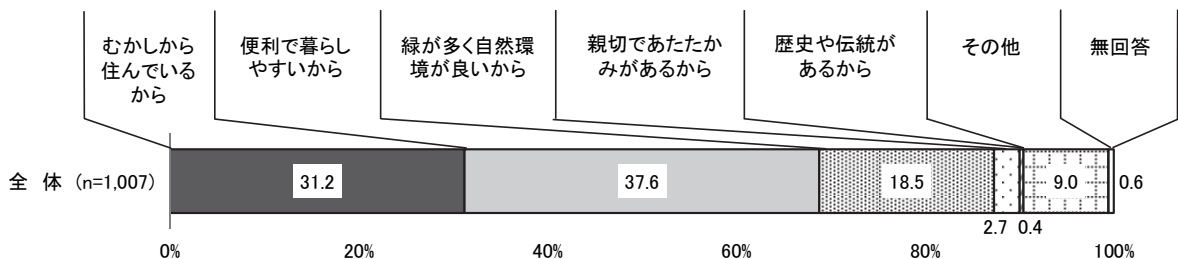
・「3年未満」(6.1%)と「3年～5年未満」(3.4%)を合わせた『短期居住者』(9.5%)が約1割、「5年～10年未満」(11.5%)と「10年～20年未満」(19.9%)を合わせた『中期居住者』(31.4%)が3割以上となっている。「20年以上」の『長期居住者』(58.8%)は6割近くとなっている。

(2) 定住意向



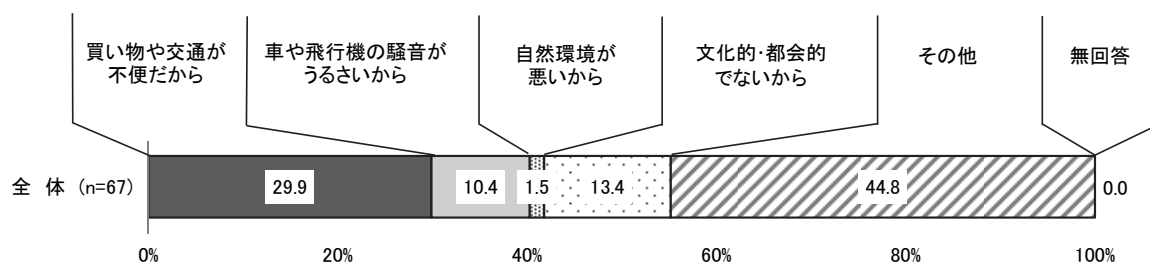
・「今後とも住み続けたい」(54.6%)と「どちらかというに住み続けたい」(30.2%)を合わせた『住み続けたい』(84.8%)が8割半ばとなっている。また、「どちらかというに住み続けたいとは思わない」(3.8%)と「住み続けたいとは思わない」(1.9%)を合わせた『住み続けたいとは思わない』(5.7%)と、「どちらともいえない」(8.7%)が1割未満となっている。

(3) 住み続けたい理由



・「便利で暮らしやすいから」(37.6%)が4割近くと最も多く、次いで「むかしから住んでいるから」(31.2%)、「緑が多く自然環境が良いから」(18.5%)などの順となっている。

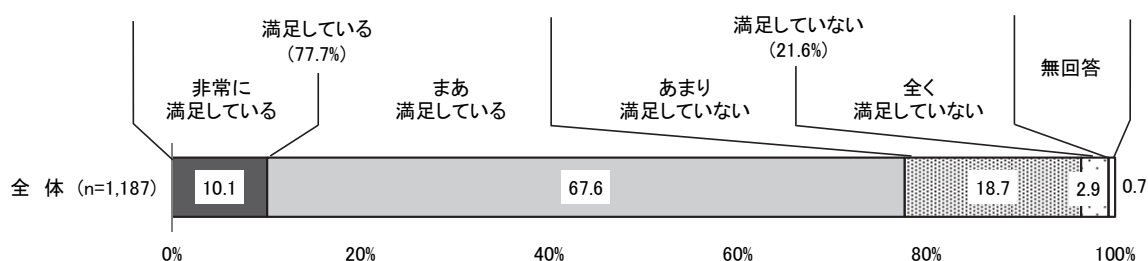
(4) 住み続けたいと思わない理由



・「买东西や交通が不便だから」(29.9%) が約3割と最も多く、次いで「文化的・都会的でないから」(13.4%)、「車や飛行機の騒音がうるさいから」(10.4%) などの順となっている。

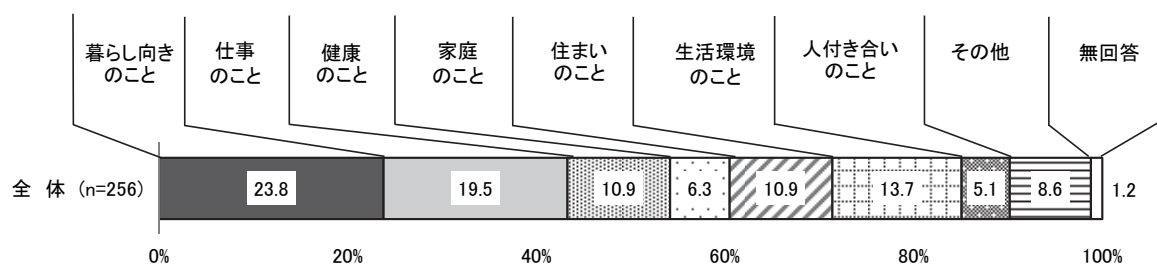
2. 暮らしの満足度

(1) 暮らしの満足度



・「まあ満足している」(67.6%) が最も多く、「非常に満足している」(10.1%) を合わせた『満足している』(77.7%) が8割近くとなっている。一方、「あまり満足していない」(18.7%) と「全く満足していない」(2.9%) を合わせた『満足していない』(21.6%) が2割以上となっている。

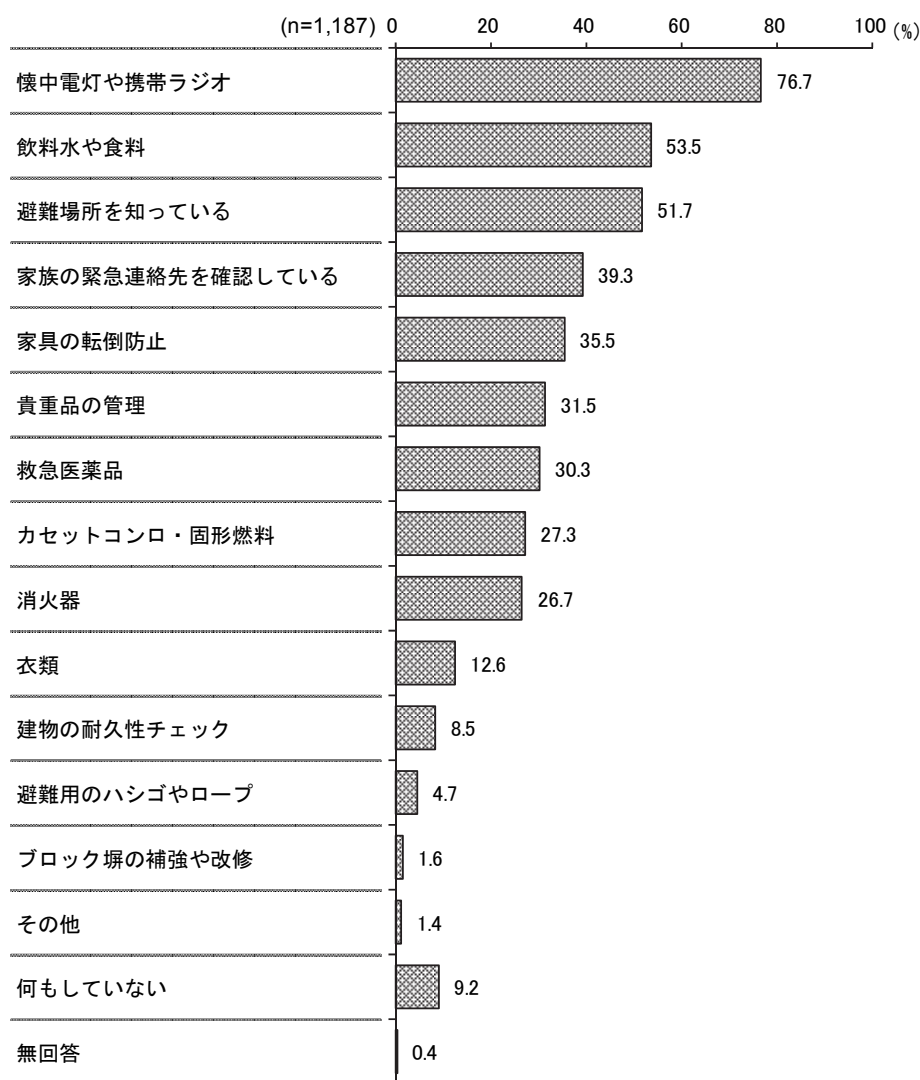
(2) 満足していない理由



・「暮らし向きのこと」(23.8%) が最も多く、次いで「仕事のこと」(19.5%)、「生活環境のこと」(13.7%)、「健康のこと」(10.9%)、「住まいのこと」(10.9%) などの順となっている。

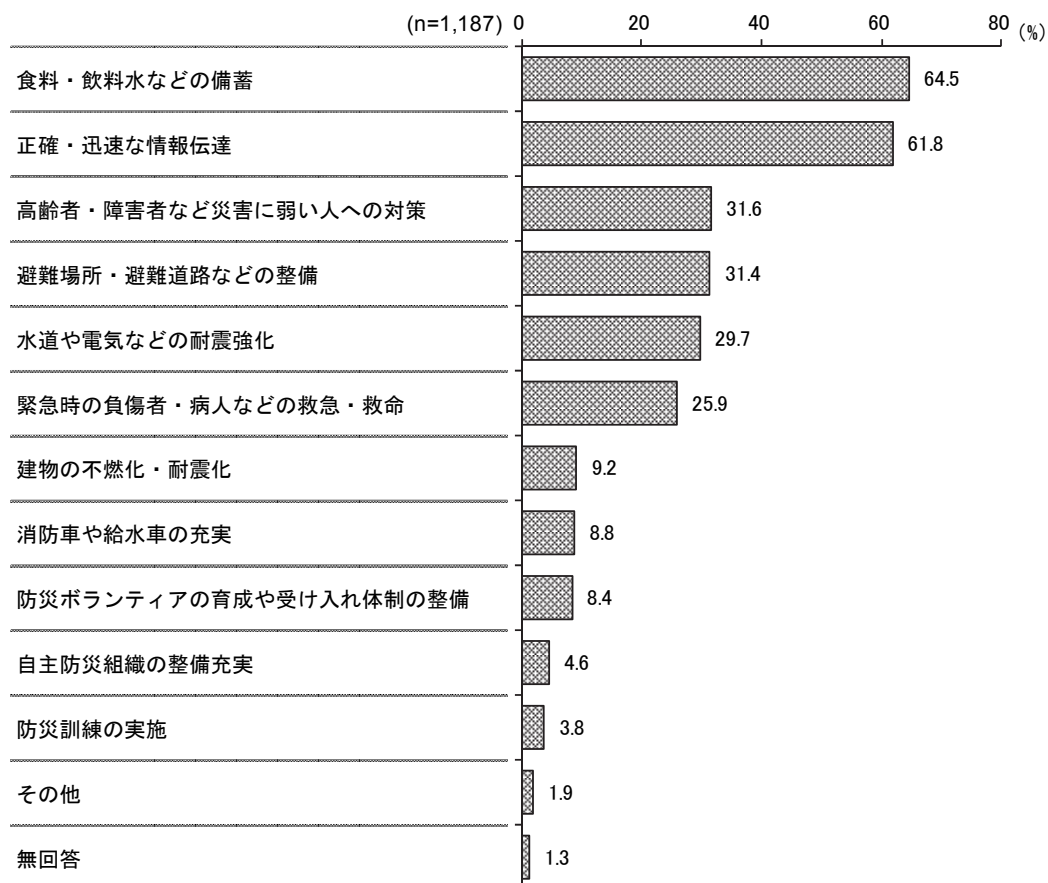
3. 災害対策

(1) 災害に対しての備え



- ・「懐中電灯や携帯ラジオ」(76.7%) が8割近くと最も多く、次いで「飲料水や食料」(53.5%)、「避難場所を知っている」(51.7%)、「家族の緊急連絡先を確認している」(39.3%)などの順となっている。

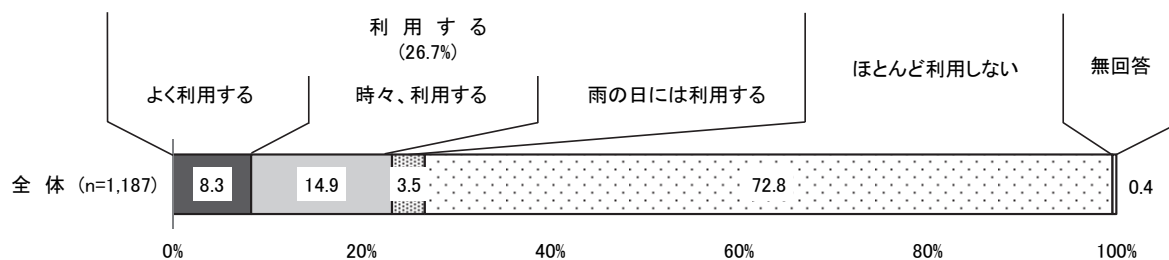
(2) 市の災害対策



・「食料・飲料水などの備蓄」(64.5%)と「正確・迅速な情報伝達」(61.8%)が6割以上を占めている。次いで「高齢者・障害者など災害に弱い人への対策」(31.6%)、「避難場所・避難道路などの整備」(31.4%)、「水道や電気などの耐震強化」(29.7%)、「緊急時の負傷者・病人などの救急・救命」(25.9%)などの順となっている。

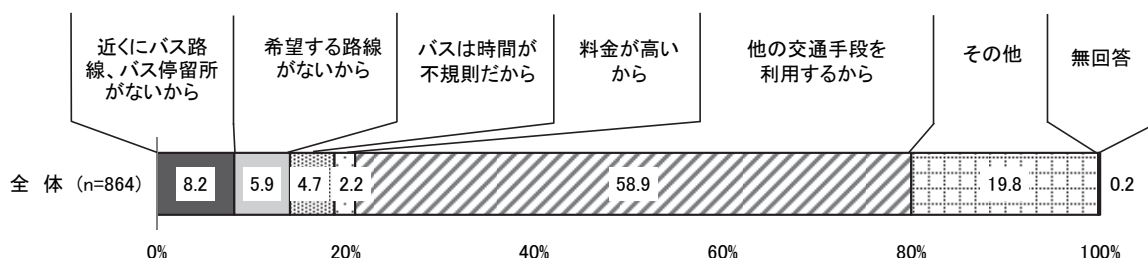
4. 日常生活

(1) バス利用の有無



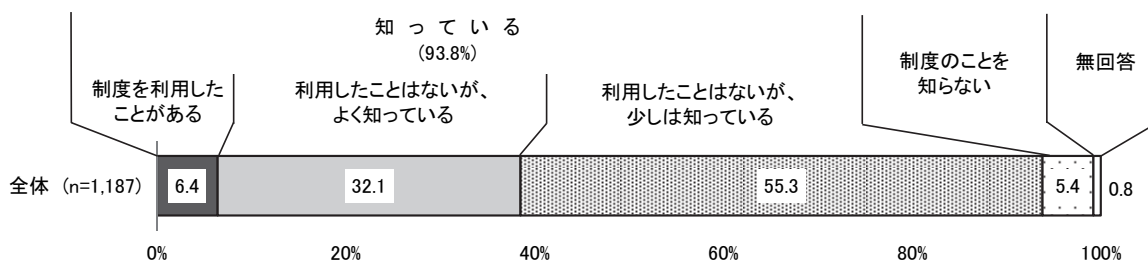
- ・「ほとんど利用しない」(72.8%)が7割以上を占めている。また、「よく利用する」(8.3%)、「時々、利用する」(14.9%)、「雨の日には利用する」(3.5%)を合わせた『利用する』(26.7%)は3割近くとなっている。

(2) バスを利用しない理由



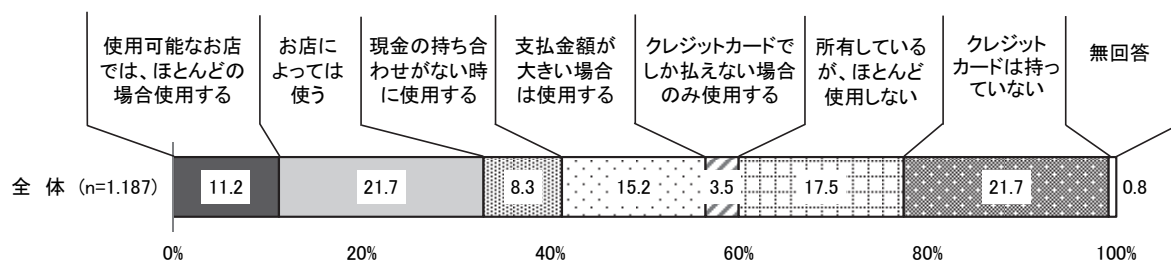
- ・「他の交通手段を利用するから」(58.9%)が6割近くと最も多く、次いで「近くにバス路線、バス停留所がないから」(8.2%)、「希望する路線がないから」(5.9%)、「バスは時間が不規則だから」(4.7%)、「料金が安いから」(2.2%)の順となっているが、いずれも1割に満たない。

(3) クーリングオフ制度の認知度



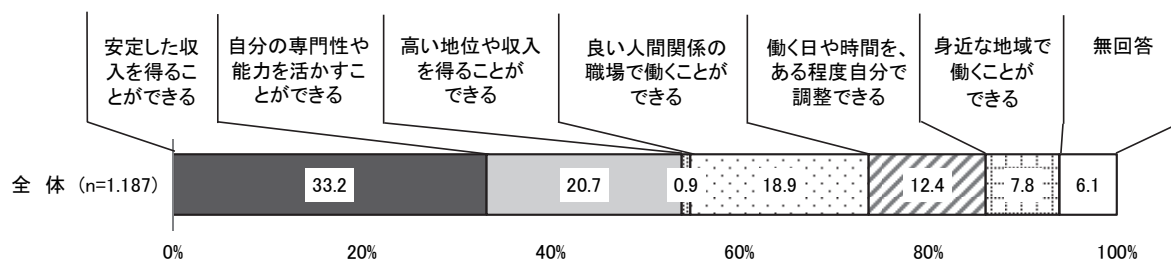
- ・「利用したことはないが、少しは知っている」(55.3%)が5割半ばと最も多く、次いで「利用したことはないが、よく知っている」(32.1%)、「制度を利用したことがある」(6.4%)の順となっている。また、これらを合わせた『知っている』(93.8%)が9割以上を占め、認知度は高くなっている。

(4) クレジットカードの使用



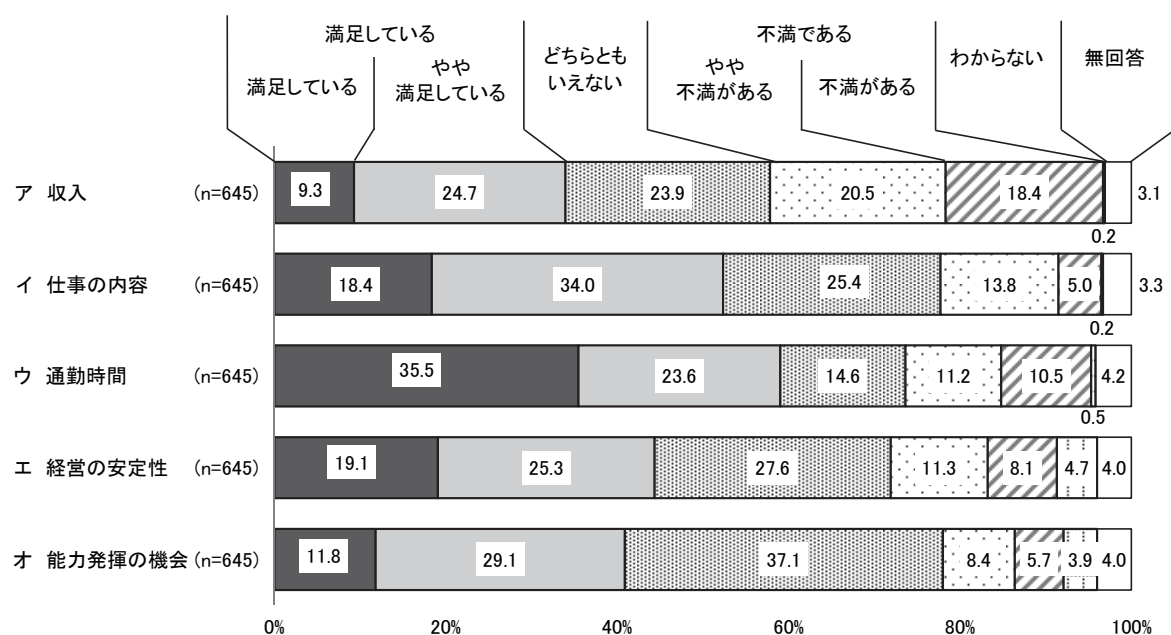
・「お店によっては使う」(21.7%) が2割以上と多く、次いで「所有しているが、ほとんど使用しない」(17.5%)、「支払金額が大きい場合は利用する」(15.2%)、「使用可能なお店では、ほとんどの場合使用する」(11.2%)などの順となっている。

(5) 理想的な仕事



・「安定した収入を得ることができる」(33.2%) が3割以上と最も多く、次いで「自分の専門性や能力を活かすことができる」(20.7%)、「良い人間関係の職場で働くことができる」(18.9%)などの順となっている。

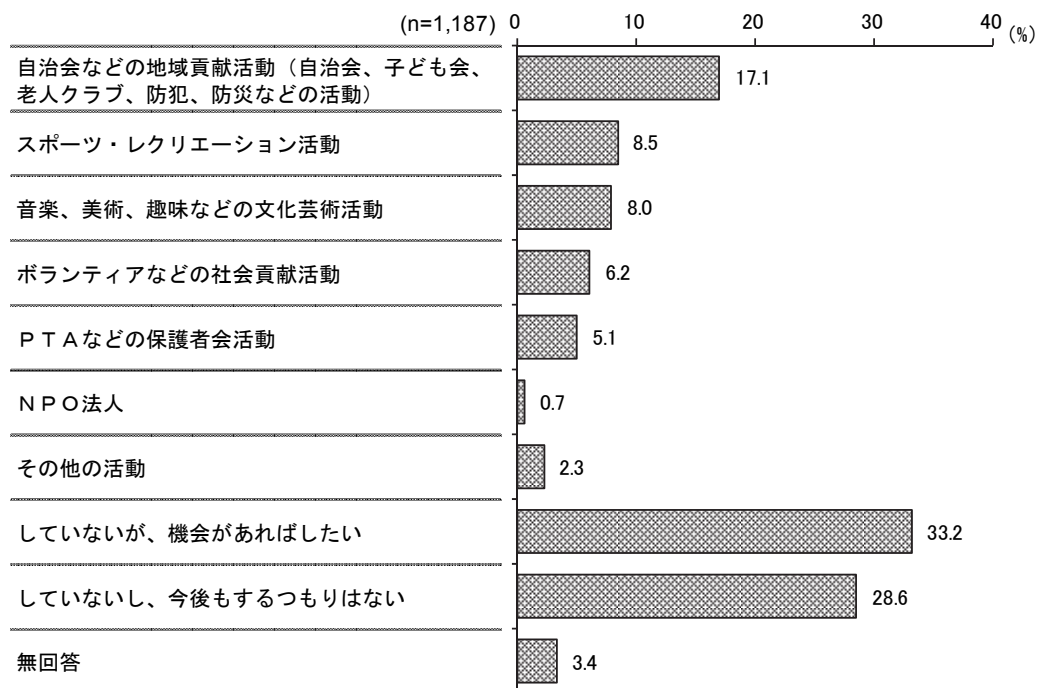
(6) 仕事の満足度



・「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』は【通勤時間】(59.1%)で約6割と最も多く、次いで【仕事の内容】(52.4%)、【経営の安定性】(44.4%)となっている。

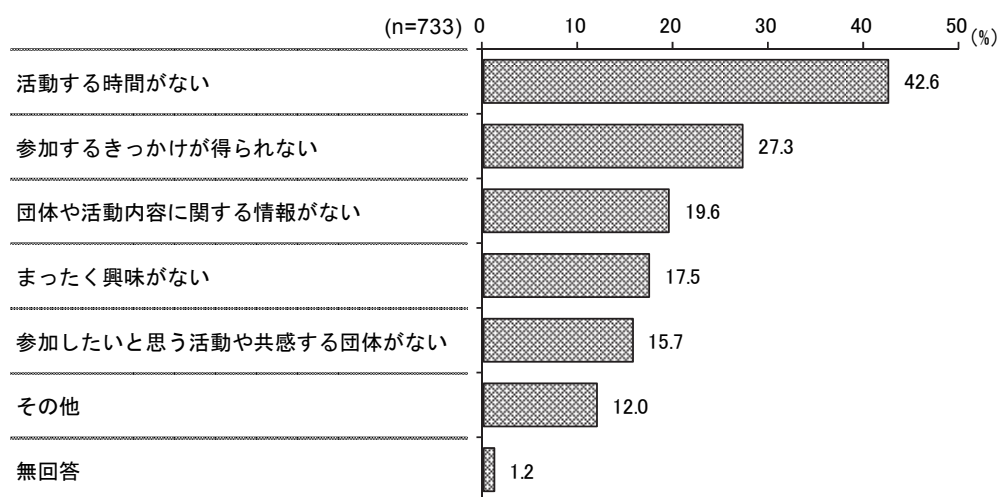
5. 地域活動・生涯学習

(1) 行っている地域活動



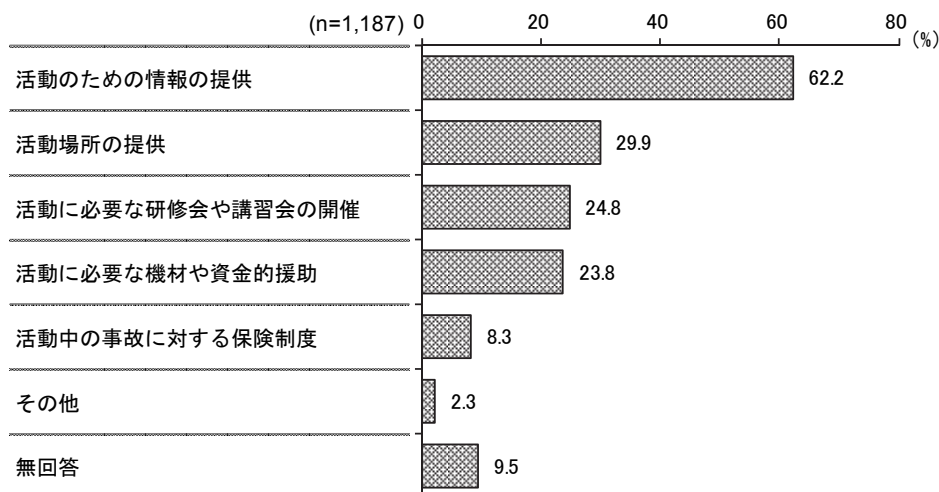
・「自治会などの地域貢献活動」(17.1%)が最も多く、次いで「スポーツ・レクリエーション活動」(8.5%)、「音楽、美術、趣味などの文化芸術活動」(8.0%)などの順となっている。また、「していないが、機会があればしたい」(33.2%)が3割以上、「していないし、今後もするつもりはない」(28.6%)が3割近くとなっている。

(2) 地域活動に参加できない要因



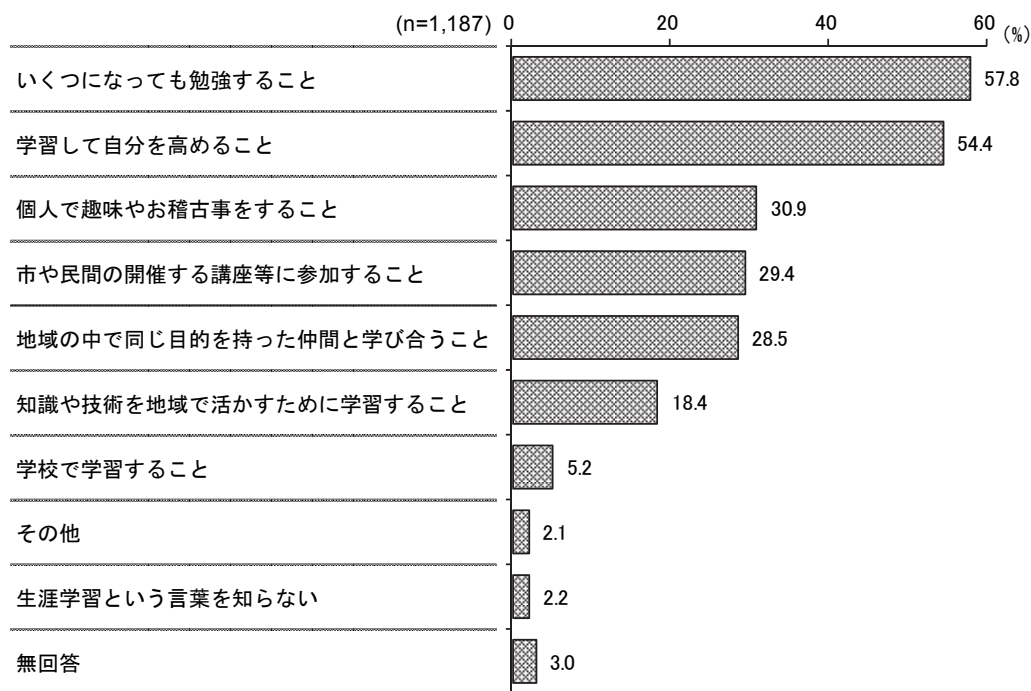
・「活動する時間がない」(42.6%)が4割以上と最も多く、次いで「参加するきっかけが得られない」(27.3%)、「団体や活動内容に関する情報がない」(19.6%)などの順となっている。

(3) 市民活動のために市が力を入れるべきこと



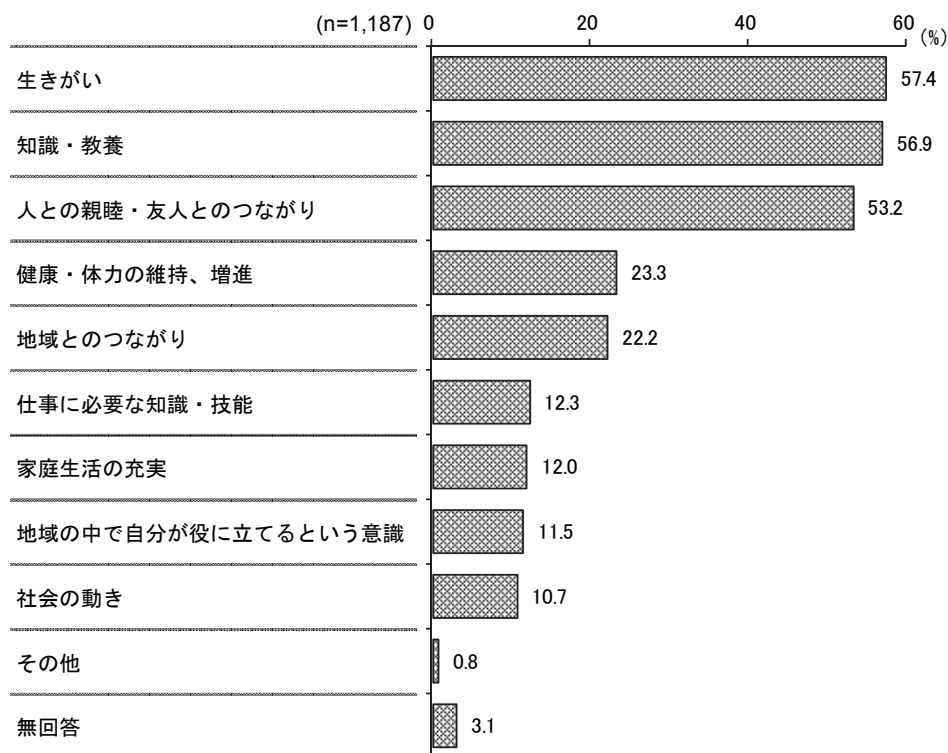
- ・「活動のための情報の提供」(62.2%)が6割以上と最も多く、次いで「活動場所の提供」(29.9%)、「活動に必要な研修会や講習会の開催」(24.8%)、「活動に必要な機材や資金的援助」(23.8%)、「活動中の事故に対する保険制度」(8.3%)の順となっている。

(4) 生涯学習の言葉のイメージ



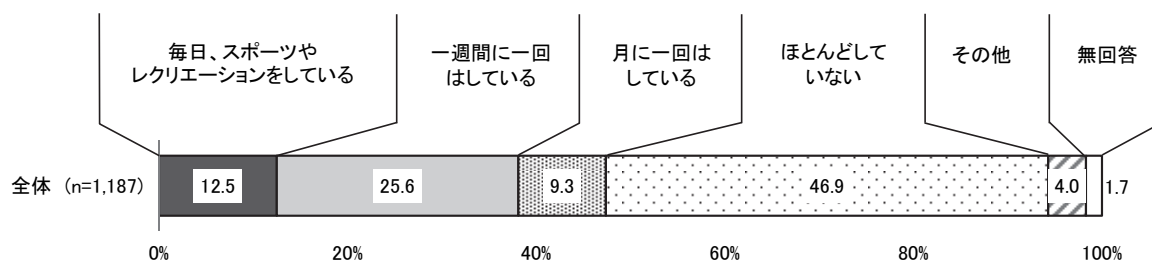
- ・「いくつになっても勉強すること」(57.8%)が6割近くと最も多く、次いで「学習して自分を高めること」(54.4%)、「個人で趣味やお稽古事をする事」(30.9%)、「市や民間の開催する講座等に参加すること」(29.4%)、「地域の中で同じ目的を持った仲間と学び合うこと」(28.5%)などの順となっている。

(5) 生涯学習を通じて得られること



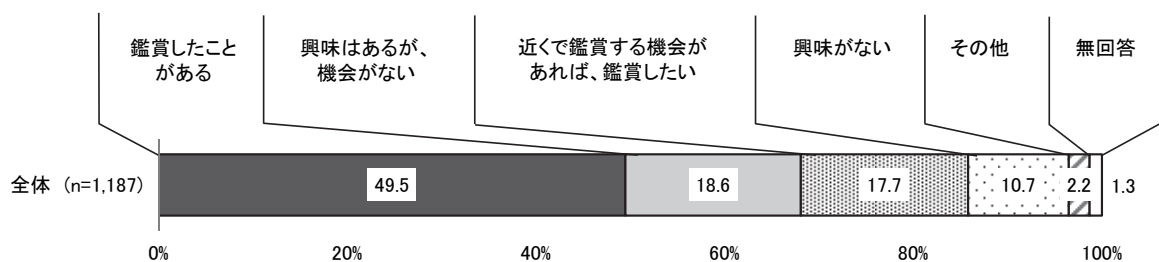
・「生きがい」(57.4%)、「知識・教養」(56.9%)が6割近くで多く、次いで「人との親睦・友人とのつながり」(53.2%)などの順となっている。

(6) スポーツやレクリエーションの頻度



・「ほとんどしていない」(46.9%)が5割近くと最も多く、次いで「一週間に一回はしている」(25.6%)、「毎日、スポーツやレクリエーションをしている」(12.5%)などの順となっている。

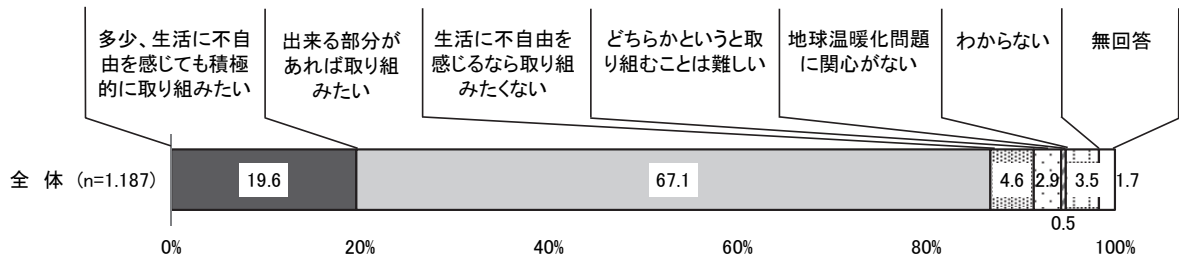
(7) 音楽・演劇・美術の鑑賞



・「鑑賞したことがある」(49.5%)が約5割と最も多く、次いで「興味はあるが、機会がない」(18.6%)、「近くで鑑賞する機会があれば、鑑賞したい」(17.7%)などの順となっている。

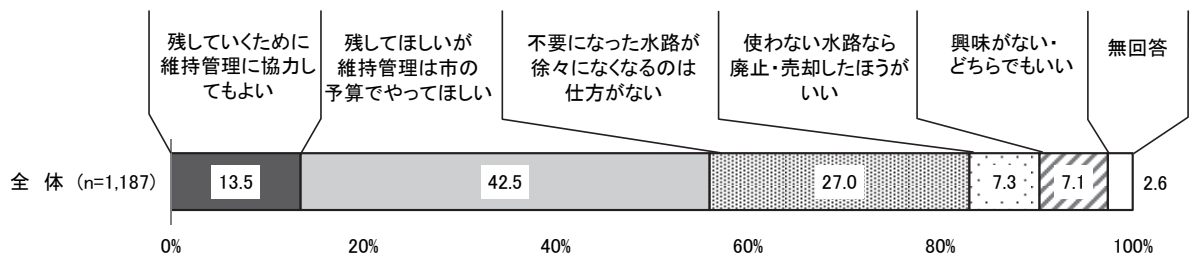
6. 環境

(1) 地球温暖化問題への関心



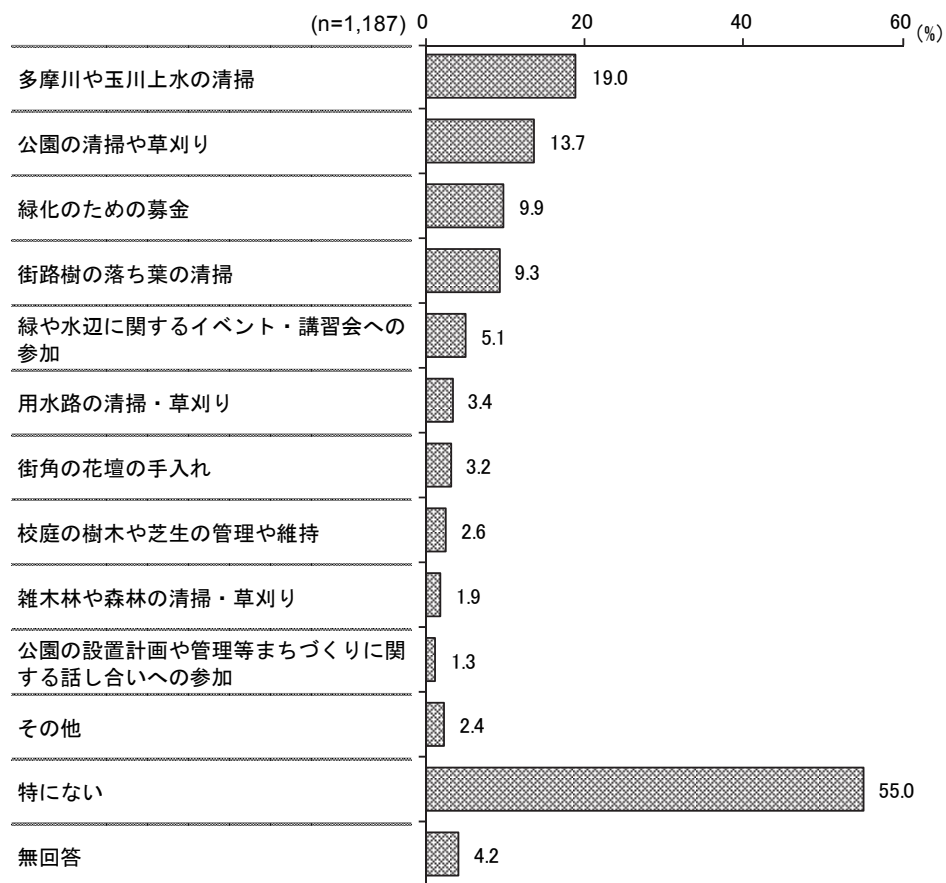
・「出来る部分があれば取り組みたい」(67.1%)が7割近くと最も多く、次いで「多少、生活に不自由を感じても積極的に取り組みたい」(19.6%)などの順となっている。

(2) 農業用水路への関心



・「残してほしいが維持管理は市の予算でしてほしい」(42.5%)が4割以上と最も多く、次いで「不要になった水路が徐々になくなるのは仕方がない」(27.0%)、「残していくために維持管理に協力してもよい」(13.5%)などの順となっている。

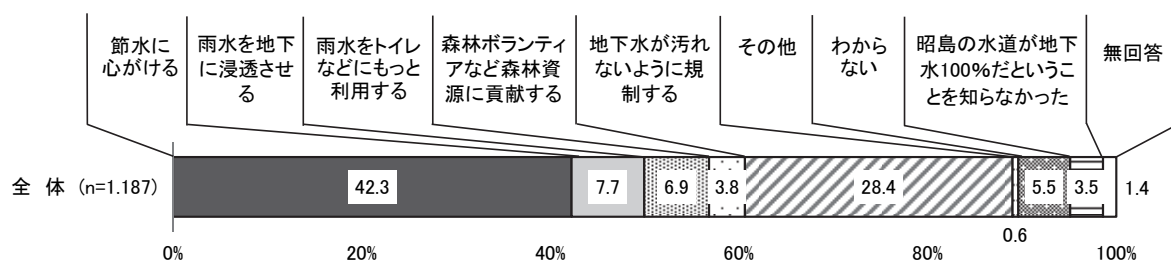
(3) 水と緑に関する市民活動



- ・「多摩川や玉川上水の清掃」(19.0%) が約 2 割と最も多く、次いで「公園の清掃や草刈り」(13.7%)、「緑化のための募金」(9.9%)、「街路樹の落ち葉の清掃」(9.3%) などの順となっている。

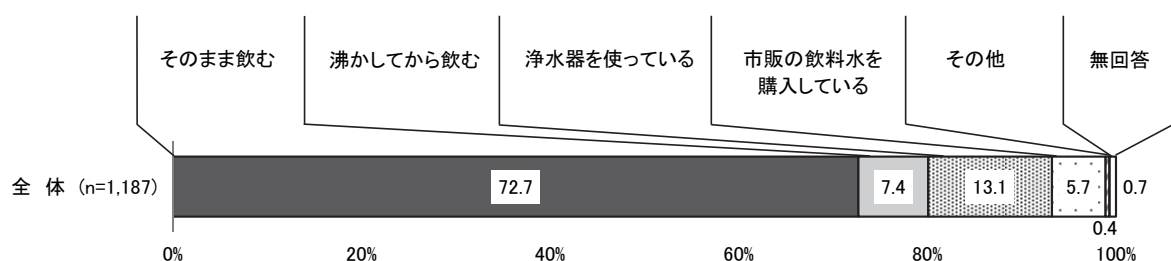
7. 昭島市の水道水

(1) 水道水に対する関心



・「節水に心がける」(42.3%)が4割以上と最も多く、次いで「地下水が汚れないように規制する」(28.4%)などの順となっている。一方、「昭島の水道が地下水100%だということを知らなかった」(3.5%)はわずかとなっている。

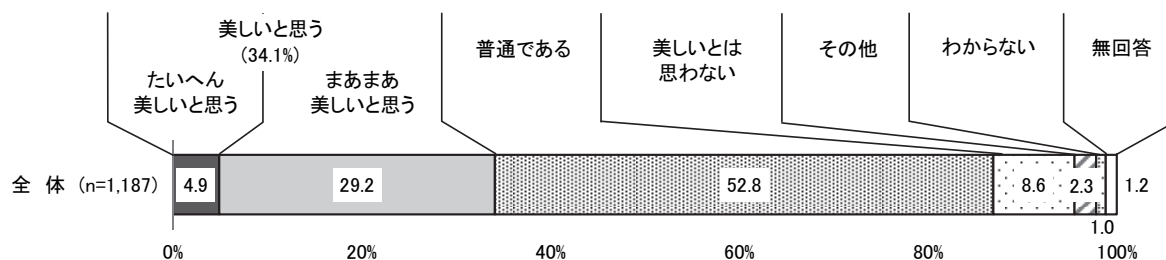
(2) 水道水の飲用状況



・「そのまま飲む」(72.7%)が7割以上と最も多くなっている。次いで「浄水器を使っている」(13.1%)、「沸かしてから飲む」(7.4%)、「市販の飲料水を購入している」(5.7%)などの順となっている。

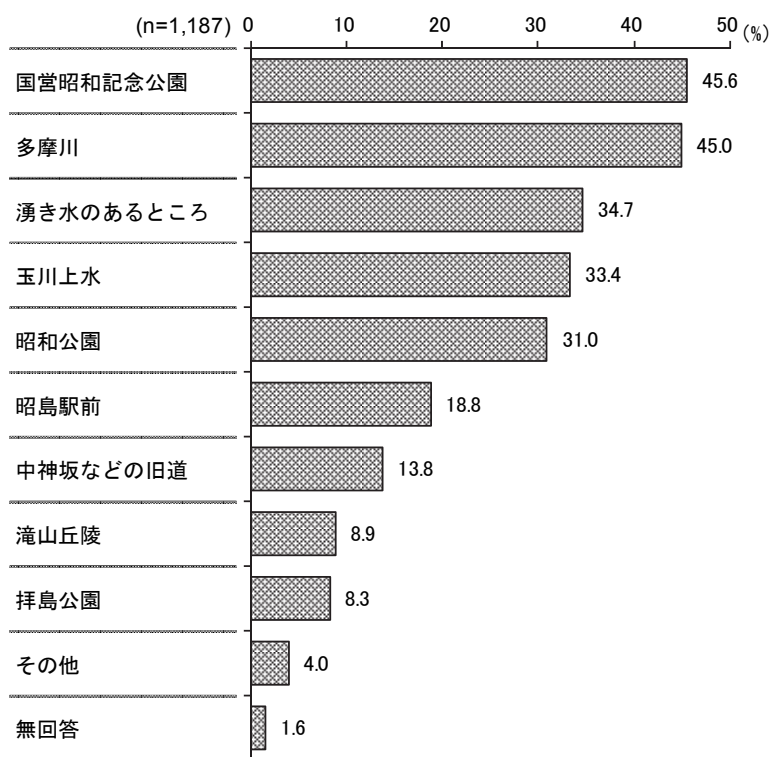
8. 都市景観

(1) 街並みの美しさに対する意識



- ・「普通である」(52.8%) が5割以上と最も多くなっている。「たいへん美しいと思う」(4.9%) と「まあまあ美しいと思う」(29.2%) を合わせた『美しいと思う』(34.1%) が3割半ばとなっている。

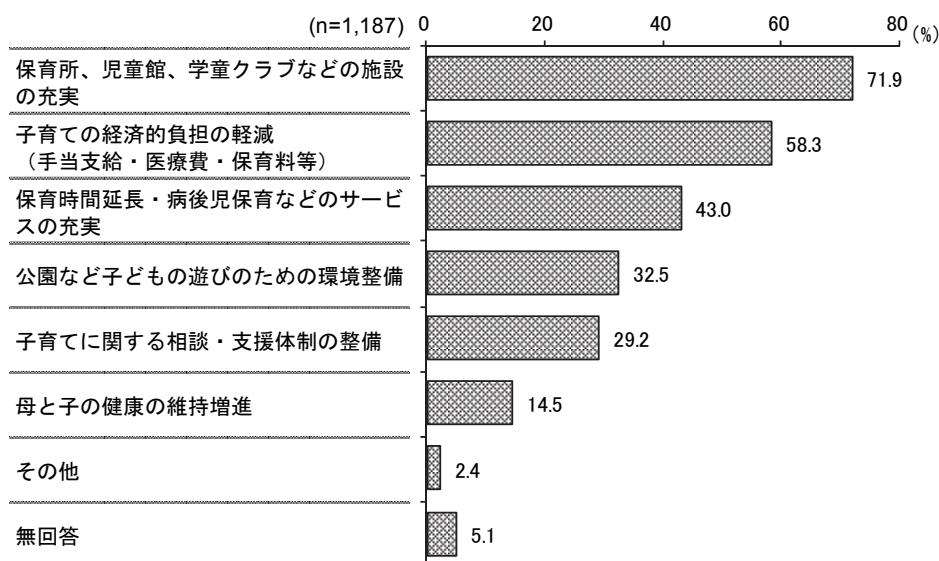
(2) 昭島らしい街並みや景観



- ・「国営昭和記念公園」(45.6%) と「多摩川」(45.0%) が4割半ばと多くなっている。次いで「湧き水のあるところ」(34.7%)、「玉川上水」(33.4%)、「昭和公園」(31.0%) などの順となっている。

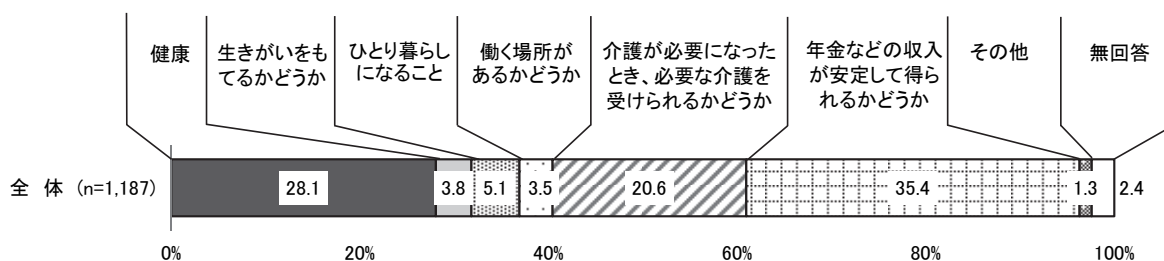
9. 少子高齢化

(1) 子育てをしやすい環境作りに必要なこと



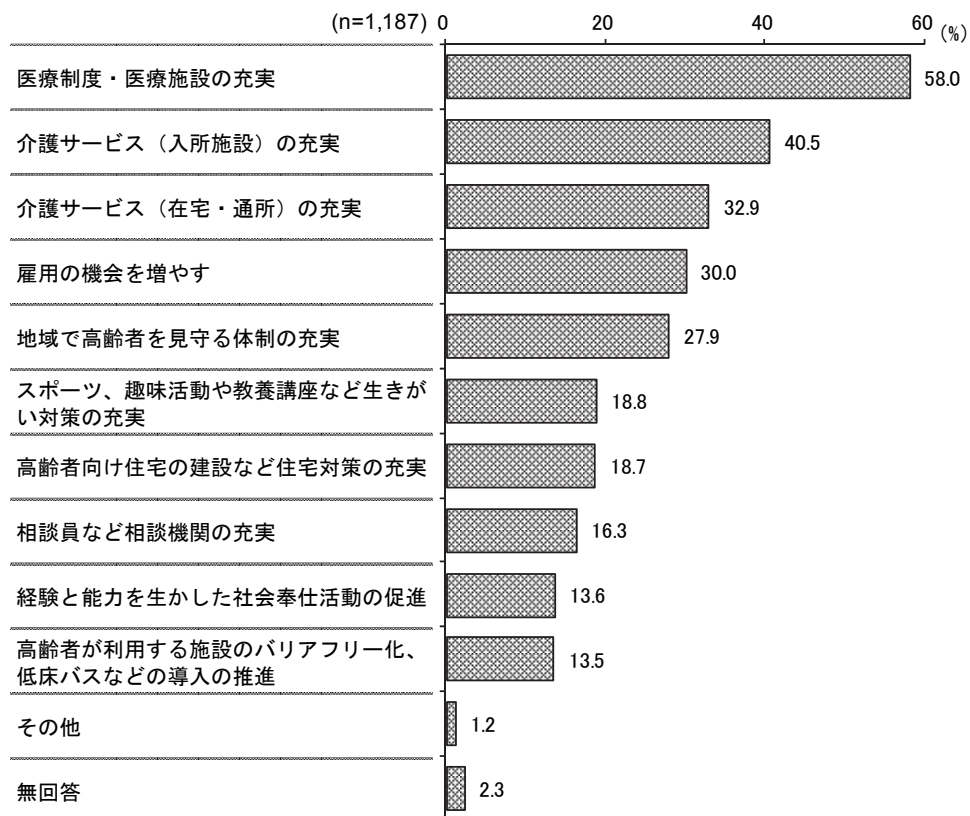
- ・「保育所、児童館、学童クラブなどの施設の充実」(71.9%) が7割以上と最も多く、次いで「子育ての経済的負担の軽減(手当支給・医療費・保育料等)」(58.3%)、「保育時間延長・病後児保育などのサービスの充実」(43.0%)、「公園など子どもの遊びのための環境整備」(32.5%)などの順となっている。

(2) 老後について最も不安に感じること



- ・「年金などの収入が安定して得られるかどうか」(35.4%) が3割半ばと最も多く、次いで「健康」(28.1%)、「介護が必要になったとき、必要な介護を受けられるかどうか」(20.6%)などの順となっている。

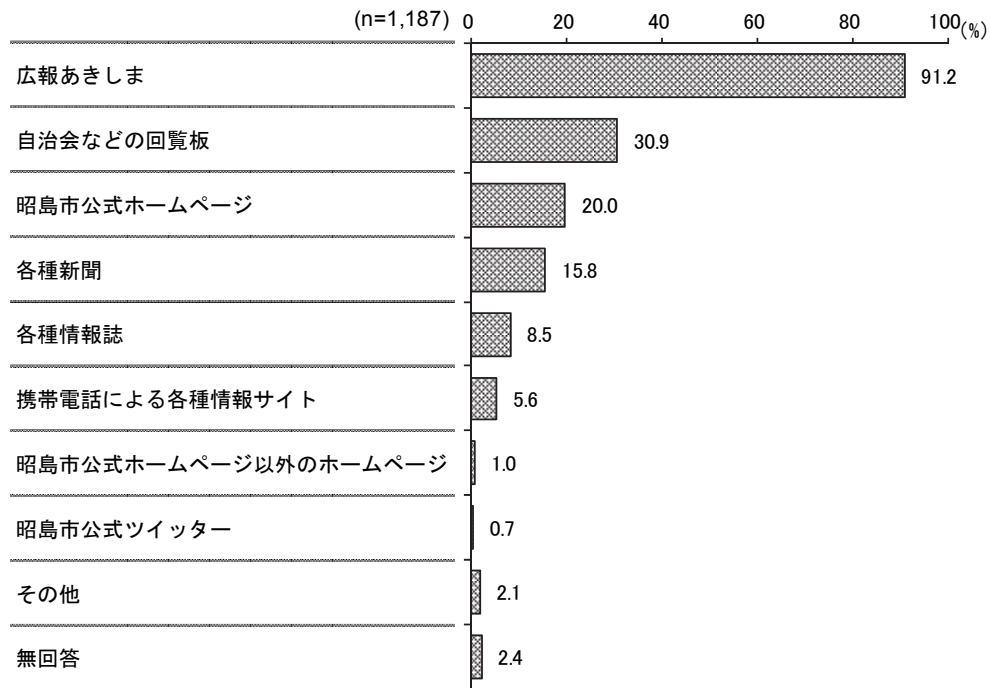
(3) 高齢者のために重要な施策



・「医療制度・医療施設の充実」(58.0%)が6割近くと最も多く、次いで「介護サービス（入所施設）の充実」(40.5%)、「介護サービス（在宅・通所）の充実」(32.9%)、「雇用の機会を増やす」(30.0%)、「地域で高齢者を見守る体制の充実」(27.9%)などの順となっている。

10. 広報

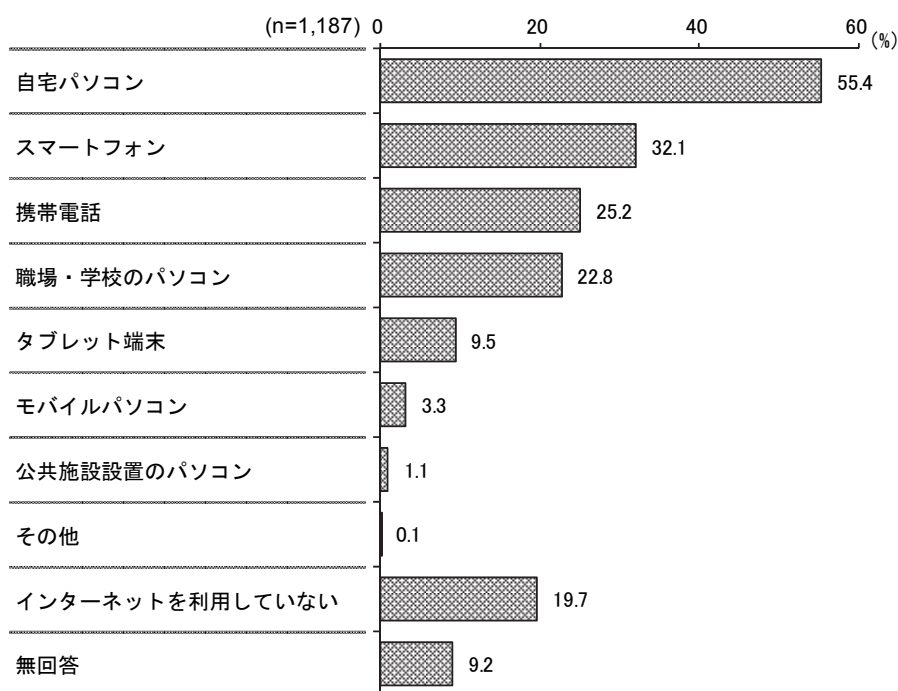
(1) 市に関わる情報の入手方法



- ・「広報あきしま」(91.2%) が9割以上を占め、ほとんどの入手方法となっている。次いで「自治会などの回覧板」(30.9%)、「昭島市公式ホームページ」(20.0%)、「各種新聞」(15.8%)などの順となっている。

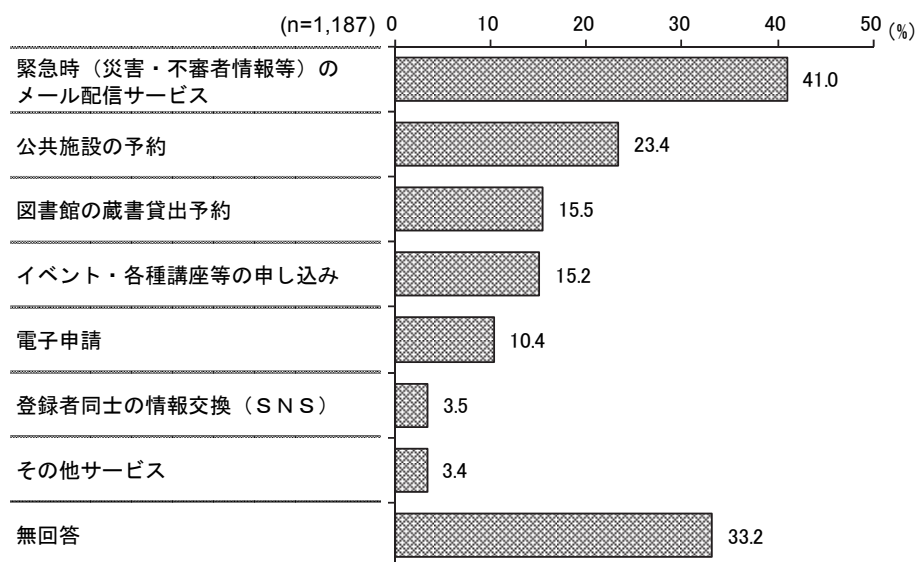
1.1. 情報化

(1) インターネットの利用環境



・「自宅パソコン」(55.4%)が5割半ばと最も多く、次いで「スマートフォン」(32.1%)、「携帯電話」(25.2%)、「職場・学校のパソコン」(22.8%)などの順となっている。また、「インターネットを利用していない」(19.7%)が約2割となっている。

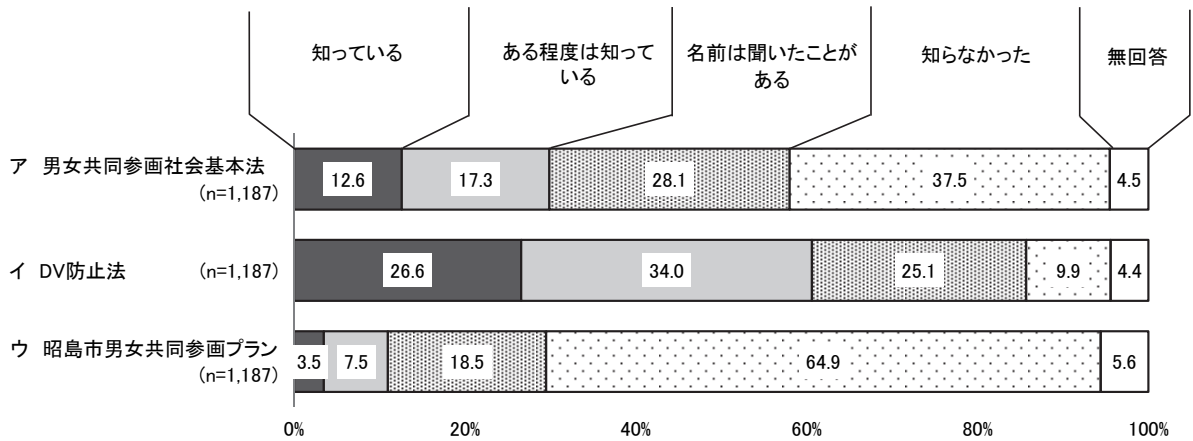
(2) 自治体提供のインターネット利用サービスの利用状況



・「緊急時（災害・不審者情報等）のメール配信サービス」(41.0%)が約4割と最も多く、次いで「公共施設の予約」(23.4%)、「図書館の蔵書貸出予約」(15.5%)、「イベント・各種講座等の申し込み」(15.2%)、「電子申請」(10.4%)などの順となっている。

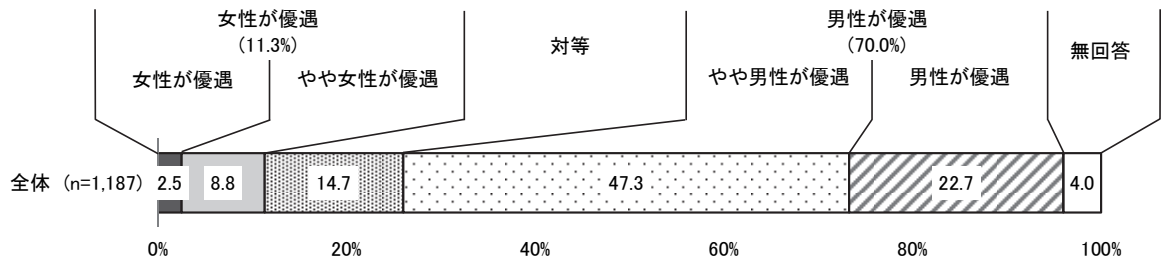
1 2. 男女共同参画

(1) 法律・計画の認知



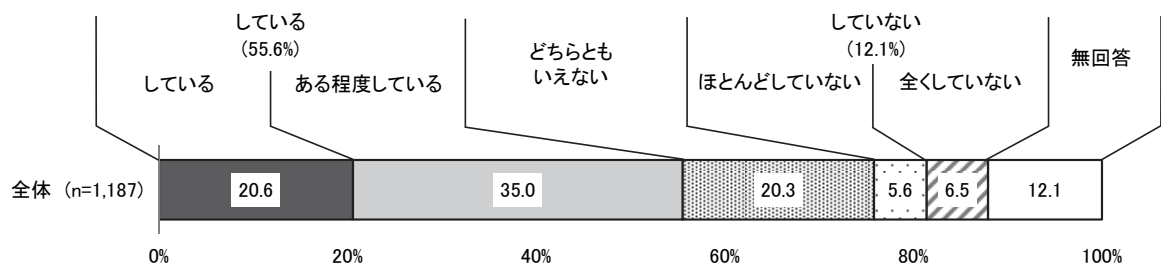
・「知っている」が最も多いのは【DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律）】(26.6%)で3割近くとなっている。一方、【昭島市男女共同参画プラン】は「知らなかった」(64.9%)が6割半ばと多くなっている。

(2) 男女の地位



・「やや男性が優遇」(47.3%)が5割近くと最も多く、「男性が優遇」(22.7%)と合わせた『男性が優遇』(70.0%)は7割となっている。

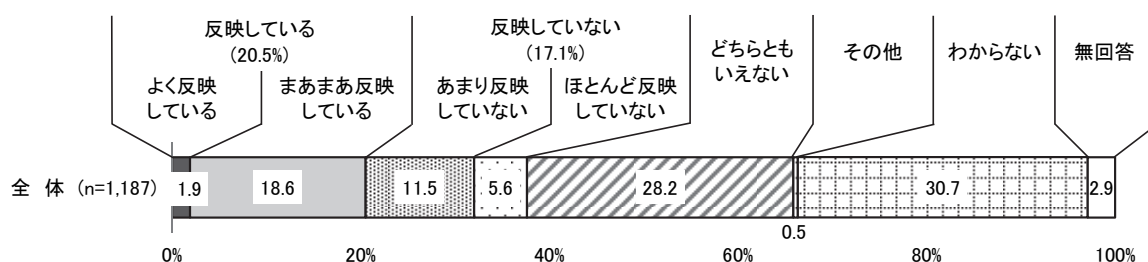
(3) 仕事と家庭生活の両立



・「ある程度している」(35.0%)が3割半ばと最も多く、「している」(20.6%)と合わせた『している』(55.6%)は5割半ばとなっている。

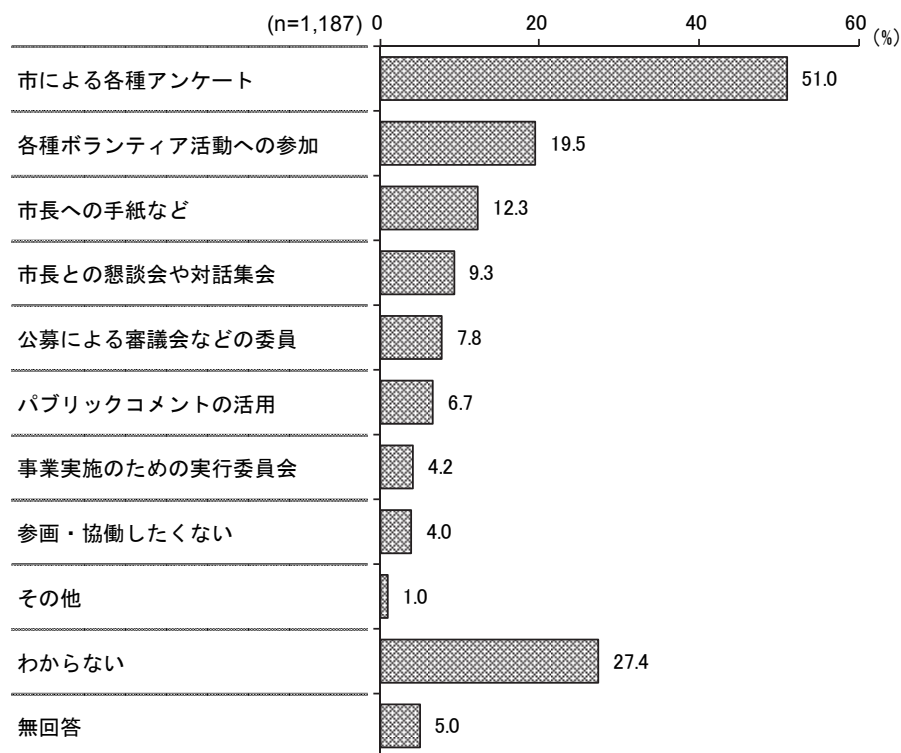
1.3. 市政・市役所

(1) 市政への市民の声の反映



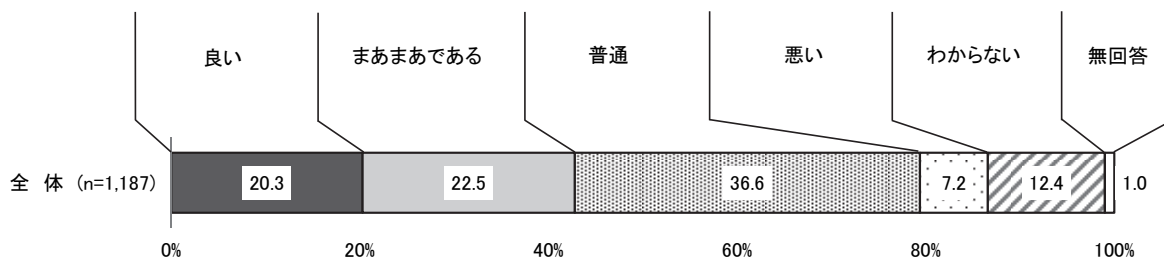
・「よく反映している」(1.9%)と「まあまあ反映している」(18.6%)を合わせた『反映している』(20.5%)が約2割となっている。一方、「あまり反映していない」(11.5%)と「ほとんど反映していない」(5.6%)を合わせた『反映していない』(17.1%)が2割近くとなっている。また、「どちらともいえない」(28.2%)は3割近くとなっている。

(2) 市政への参画・協働の関わり方



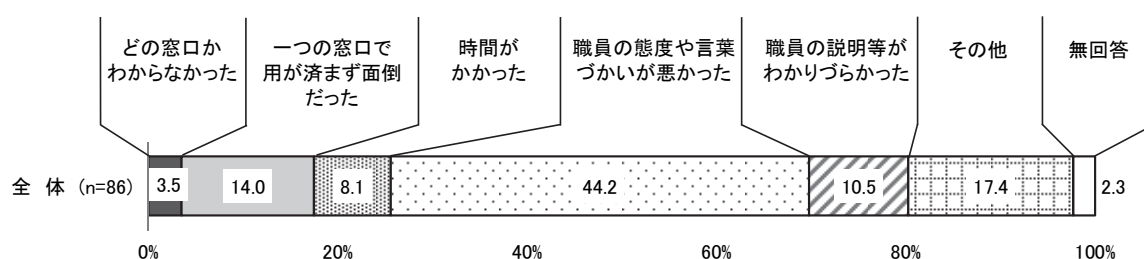
・「市による各種アンケート」(51.0%)が約5割と最も多くなっている。次いで「各種ボランティア活動への参加」(19.5%)、「市長への手紙など」(12.3%)などの順となっている。

(3) 市役所の窓口サービスの評価



- ・「普通」(36.6%)が4割近くと最も多く、次いで「まあまあである」(22.5%)、「良い」(20.3%)、「悪い」(7.2%)の順となっている。

(4) 窓口サービスが悪いと感じた理由



- ・「職員の態度や言葉づかいが悪かった」(44.2%)が4割半ばと最も多く、次いで「一つの窓口で用が済まず面倒だった」(14.0%)、「職員の説明等がわかりづらかった」(10.5%)などの順となっている。

昭島市 市民意識調査 概要版

平成26年2月

発行 : 昭島市企画部秘書広報課
〒196-8511 東京都昭島市田中町一丁目17番1号
電話 042-544-5111 (代表)

調査実施 : 株式会社タイム・エージェント
